

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年10月26日(9:15~9:40)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	徳永・辻脇・石山・西谷・尾方・坂本雄 ・坂本泰・岸川・山本・門久

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	6		1	10

前回の改善計画	
・利用開始前に管理者だけでなく、スタッフも付き添い本人や家族からの情報を聞き取り、支援を考える。 ・カンファレンスやミーティングを活用し、情報の共有を継続する。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	5			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができますか?	1	8		1	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	3	7			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	5	1	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスやミニカンファ、申し送りを行うことで情報の共有が行えている。 ・介護支援経過、フェイスシート、カンファレンス後の記録を基に情報の共有を行い支援を行えている。 ・本人様、家族様の要望等を開き、それに添ったケア支援を行い、不安の解消ができるような声かけ、ケアの取り組みにも配慮している。 ・ケアプランにそった介護支援をしている。 ・管理者だけではなく、現場の職員も同行して聞き取りを行うことで介護の視点からもアセスメントができる。 ・通い、訪問時に積極的な声かけができている。 ・基本を身に着け研究している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が拒否されたりして、どうしても支援できない場合がある。 ・特に認知症の利用者様の場合、本人以外の家族のニーズや意向を優先していた。 ・新規利用者様の情報不足やアセスメント不足を感じることがあった。 ・利用者様の思いを実践できないときは、電話や面会時に管理者より家族様に報告している。 ・新人なので情報の共有ははっきりつかないので確実に支援できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスやミーティングを活用し、情報を共有できるようにする。 ・前回の改善計画を継続し、利用開始前は管理者とは別に現場職員が付き添い、必要な情報を聞き取りカンファレンスや記録を基に情報を共有する。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年10月26日(9:15~9:40)		
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	徳永・辻脇・石山・西谷・尾方・坂本雄 ・坂本泰・岸川・山本・門久		

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	5	3	1	10

前回の改善計画	
・喫茶(火・金)の日に、午後のレクリエーションの代わりに利用者とゆっくり話す時間を設け、ニーズの把握や支援を行うようにする。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	7	1	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	1		10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	1		10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	8			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研究努力はしている。 ・喫茶は実行し喜ばれている。 ・毎月ケアプランの見直し評価を行い、目標に向かた支援ができている。 ・ミーティングでの発言がケアの振り返りや次の対応に活かせている。 ・喫茶の時間を設けたことで利用者様との関わりの時間をもてるようになった。 ・カンファレンスの時に情報を共有できている。 ・実践し、ケアを通して本人様にケア方法が合っているかミーティングをし、再検討をしながら対応をしている。 ・毎月カンファレンスを行い意見を出し合って検討している。緊急時はミニカンファを行い検討できている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様のニーズを基本に支援・会話があまりできていなかった。 ・利用者様1人1人の十分な会話・コミュニケーション作りがまだ不足している。 ・認知症の利用者様に対してのニーズの把握があいまいなところがある。 ・業務優先になるときがあり、個別ケアの徹底ができていないことがある。 ・本人がしたいことを言っても、ADLを考慮し、できないことがある。 ・喫茶の時間に別の業務を行ったり、職員同士で話していくたり、もったいないと感じた。 ・利用者様とゆっくり話す時間をもっとつくるべきではないか。 ・本人様の目標は把握できていない。話をする時間もあまりない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なケアプランの見直しを行い、必要事項はケアプランに反映させていく。 ・各担当が喫茶の時間にニーズの聞き取りや困りごとなどを聞き出し、毎月のモニタリングで発表しケアプランに反映していく。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年10月26日(9:15~9:40)
3.日常生活の支援	メンバー	徳永・辻脇・石山・西谷・尾方・坂本雄 ・坂本泰・岸川・山本・門久

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8		1	10

前回の改善計画	
・フェイスシートの更新を行い、スタッフ全員が閲覧・活用できるようにする。 ・アセスメントツールの聞き取りを継続する。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	8	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	3	7			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	7			10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できていますか?	3	7			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様の要望に合わせた入浴介助(同性介助・回数)・食事の提供ができる。 (減塩・キザミ・ミキサー) 体調の変化・排泄コントロール等に関しては状況に応じた介護ができる。 急変時等は受診又は救急搬送している。 本人様の状態に応じたケア方法をその都度話し合いケアをしている。 体調や精神面においての言動や身体の状態に注意しながら、変化があれば申し送り等で共有し、ケア方法も柔軟に対応している。 更新は行っており、誰もが閲覧・活用できるようにしている。 状態が悪い時は、Dr.に指示受けし、状態管理できている。 体調への変化は看護師・管理者に報告している。 (利用者様の)思い・問題点を職員間で共有・話し合い、介護方針を決め実行している。 基本を身に着け研究している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
家族様が遠方にいらっしゃったり、本人様とコミュニケーションが取りづらい方がいて、以前の暮らし方が把握できない。 以前の暮らし方を10個までは言えない。 利用者1人1人の会話・コミュニケーション作り 情報共有をはっきりつかめないので確実に支援できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用前より、管理者・看護師・介護職でそれぞれの話し合いに参加し、以前の生活歴や経験などを家族に聞き取り、本人の状態把握につなげる。 救急搬送時の勉強会を開く。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年10月26日(9:15~9:40)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	徳永・辻脇・石山・西谷・尾方・坂本雄 ・坂本泰・岸川・山本・門久

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	7			210

前回の改善計画	
・スタッフの地域資源に対する知識を深める。 ・地域のイベントなどの地域資源となりうる情報を開示する。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8		1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	1		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	2	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	4		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・サロンに参加し、皆様に喜ばれるため研究し、資料を少しずつファイルした。 ・地域の清掃活動に参加した。 ・計画されていることは参加している。 ・毎月の手紙で、家族との関係が途切れないようにしている。 ・施設内でのサロン開催などで地域との関係づくりに努めている。 ・イベントに参加できるような企画を立て、実行している。 ・本人様・ご家族様から情報共有し、人間関係や以前の生活スタイルを理解している。 ・本人様と家族様、周りの関わりを保つため日頃から密に連絡を取っている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域のことを知らない。勉強していない。 ・地域のイベント等の情報を開示していただき協力・参加していく必要がある。 ・民生委員や地域資源の把握ができる利用者様とそうでない利用者様がいる。 ・利用者様・家族様が地域との関わりを重んじてない場合がある。 ・独居の方はどのように過ごされているか把握できない部分がある。 ・認知症の方の場合、仰られることをうのみにできない。 ・管理者以外の職員は、他事業所とのかかわりが少ないので地域資源の把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・施設の開放・地域サロンへの参加など、地域との関係づくりに努める。 ・地域資源マップを作成し、職員全体が把握できるようにする。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年11月1日(18:00~18:20)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	徳永・辻脇・石山・西谷・尾方・坂本雄 ・坂本泰・岸川・山本・門久

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	6	1	1	10

前回の改善計画	
・2ヶ月に1回程度、地域資源を活用できるイベント等を企画する。その際は、必要な人員を確保し実践していく。(F勤務等)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	9			10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	7			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様のニーズを基本にカンファレンス・ミーティングし、情報を共有し介護支援を行っている。 今まで計画されていることは参加・交流を行っている。 本人様のニーズに合わせ、通い・訪問・泊りの利用提供ができる。 変化があれば話し合い、その時で対応している。 イベントの企画や必要な人員確保もでき安全に参加できている。 先輩スタッフに教えてもらながらなんとかやっている。 サロンを通じて行っている。 公園やカフェにも行って楽しんでもらっている。 状態の変化に気づいたら申し送り等で共有し、それに合わせて利用状況も変えている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の資源を研究すること。 イベントなどの情報が十分に把握できていない。 地域資源の把握がでておらず、地域資源を使った支援ができていない。 独居利用者様の支援については人員配置や提供時間の問題等があり支援に限界がある。 泊りの利用者が多いのが実情で、通いの受け入れが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今後も本人の状態に合わせ柔軟な支援を、利用者のニーズに合わせて提供していく。 カンファレンス・内部研修等で地域資源の把握・利用方法・活用事例等を学ぶ機会を設け、支援につなげる。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年11月1日(18:00~18:20)
6.連携・協働	メンバー	徳永・辻脇・石山・西谷・尾方・坂本雄 ・坂本泰・岸川・山本・門久

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7	1	2	10

前回の改善計画	
・これまでの地区行事・イベント等は継続し参加していく。 ・さなえ保育園(あさぎりこども園)等、地域の見知りのあるところのイベントに見学等をさせて頂く。(運動会…等)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	3	2	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		4	4	2	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	8		1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		7	1	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議とまではいかないが必要時は相談できている。 管理者が参加している。 地域の事業に参加している。 デイサロンの参加・ブロック会議への出席、地域のイベントへの参加を利用者様と一緒に参加できている。 地区行事の参加は継続できている。 地元の保育園との交流の機会がある。 月1回の神社清掃や、サロンへ参加している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス機関と必要時連絡は取り合っているが、会議までは参加していない。 地域の方が施設を訪問される事はあまりない。 あさぎりこども園の見学ができるいなかった。 地域の各種機関の活動やイベントにスタッフが参加する機会は限られている。 地域高齢者や子供会等が参加する機会が限られている。 地域の見知りの場所でのイベント・見学等ができていない。 イベント情報の開示を十分に把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
広報などで地域の方にも小規模のあり方を知って頂く。 地域の行事をもっと把握できるよう、サロンでの働きかけを行うとともに、地域の方からも話しかけやすい見知りの関係をつくる。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年11月1日(18:00~18:20)
7. 運営	メンバー	徳永・辻脇・石山・西谷・尾方・坂本雄 ・坂本泰・岸川・山本・門久

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8		2	10

前回の改善計画	
・運営推進会議やディサロンでの意見や苦情などの聞き取りを積極的に行う。 ・地域行事への参加や関わりを通して小規模多機能居宅サービスの役割を感じてもらい、意識の向上に努める。	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	6		3	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	1	2	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6		2	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	6	2	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様・家族様・介護者からの意見や苦情は運営に反映されている。 ・地域の方からの意見・苦情も運営に反映されている。 ・職員として意見を言える場面がある。 ・利用者様・家族様からの意見・苦情は管理者に報告している。 ・ディサロン開催時や家族様面会時には積極的に聞き取りを行っている。 ・意見や苦情に対しては、すぐに話し合いを行い職員全員が把握するようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所に関して管理者任せになっているところがある。 ・地域との協働を積極的にはできていない。 ・苦情を積極的に取り入れ出来ないこともあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地区行事の参加や関わりを通して、小規模多機能居宅介護サービスの役割を感じてもらい、目的意識向上に努める。 ・運営推進会議に出来るだけ多くの職員も参加し、地域の方と交流を持つようとする。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年11月1日(18:00~18:20)
------------------	-----	-------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	徳永・辻脇・石山・西谷・尾方・坂本雄 ・坂本泰・岸川・山本・門久
-----------------	------	-------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?		6	1	3	10

前回の改善計画	外部研修への参加は勤務時間の為参加者が少ないのが現状である。参加できるような勤務体制・勤務環境を作り、会社主導で参加できる環境をつくる。
---------	--

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	7	1		10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	2	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	3	2	10
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	8	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
•できる範囲で行っている。 •職場内の研修には参加できている。 •リスクマネジメント委員会を作っており、各部署から1名選出し、月1回のミーティングを行い、その内容を全職員に伝わるようにしている。 •地域の連絡会には主に管理者が参加している。 •内外の研修・スキルアップ研修に参加できている。 •研修に参加できる環境は出来ている。 •管理者から外部研修の知らせがあるときはなるだけ参加している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
•職場外の研修や地域の連絡会には参加できていない。 •外部研修の開催が本社になるのでなかなか見ることができない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
•研修内容を復習し、リスクマネジメントをみつける。 •内部研修の参加の徹底・外部研修の情報提供を行い、職員のスキルアップを目指す。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成30年11月1日(18:00~18:20)
9. 人権・プライバシー	メンバー	徳永・辻脇・石山・西谷・尾方・坂本雄 ・坂本泰・岸川・山本・門久

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6		2	10

前回の改善計画	
・研修参加や内部研修等を行い、日頃のケアを日頃のケアを振り返る機会を設ける。	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	4			10
②	虐待は行われていない	6	3		1	10
③	プライバシーが守られている	5	5			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2		6	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4		1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修に参加している。 ・研修に参加し、実践している。 ・個人情報については持ち出しを禁止し、情報管理に努めている。 ・身体拘束・虐待はしていない。 ・プライバシーを社外に持ち出さないようにしている。 ・身体拘束防止委員会を立ち上げ、意識づけに取り組んでいる。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・無意識に行動制限をしていることがある。 ・成年後見制度の対象者がいない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・身体拘束・虐待についての内部研修を今後も継続し、日頃のケアを振り返る機会を設ける。 ・身体拘束について、もっと学習の場を設ける。	